

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
阿賀町	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●				

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業) 広域化等				
実施済	(実施類型)	汚水処理施設の 統廃合		(取組の概要)		(実施(予定)時期) 年 月 日
	処理場廃止あり 処理場廃止なし					
		公共下水・流域下 水の統合 公共下水同士 の統合 集落排水・公共下水と の統合 特環下水と公共下 水との統合 その他				
		汚泥処理の 共同化 維持管理・事務 の共同化 最適な汚水処理施設 の選択(最適化)				
実施予定	(取組の効果額)	百万円(年)				
	(取組の効果額内訳)					
検討中	(取組の概要)	平成17年の町村合併を機に町全体での整備計画見直しを行い、平成19年度に「阿賀町汚水処理施設整備長期構想」を策定。その中で、処理区の統合を検討していた。平成30年より県の計画策定検討会が立ち上がり、町の長期構想にも合致していたことから、参画できる可能性のある取組の検討グループに加わった。				
	(検討状況・課題)	令和4年度に新潟県汚水処理の広域化・共同化計画が策定、町も検討グループに所属しながら情報収集、可能性検討を進めている。 令和7年度に「下水処理場統廃合検討業務委託」を予定しており、この結果により今後の方針を決定する。				